



2023 年11月13日

各 位

会 社 名 株式会社 フルッタフルッタ
代 表 者 名 代表取締役社長執行役員 CEO 長 澤 誠
(コード番号 2586 東証グロース)
問 合 せ 先 管理部 IR担当

TEL. 03-6272-3190

新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、2023年11月13日開催の取締役会において、以下の通り新たな事業を開始することについて決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 事業開始の趣旨

当社は創業から20年間掲げている『自然と共に生きる』というミッションのもと、アグロフォレストリーの多様性を活かしたマーケティング活動を継続して行ってまいりました。特に近年、次世代型食料供給産業に注目が集まる中で、近い将来、アグロフォレストリーが国際機関の目指す「温暖化ガスの削減」や「ネイチャーポジティブ」(注1)の数少ない成功事例となり得ることを鑑み、アグロフォレストリーを中心としたサステナブルマッチングプラットフォーム構築に向けた取り組みを進めることといたしました。

CO₂削減の観点においては、当社は、昨年から自社品パッケージへのCO₂削減量表示を広げていく中で、その取り組みが注目され、現在では当社が供給した原材料を用いた他社品にCO₂削減量表示を行うことも検討されており、今後も広がりが期待できます。また、当社のサプライヤーであるCAMTAは、アグロフォレストリーを通して減らした二酸化炭素を、炭素クレジットとして発行するプロジェクトをスタートし、テスト的に実施された炭素クレジットは今後も大きな期待が寄せられています。ブラジルは、議長国となる次期G20サミットにて、飢餓や気候変動に対する取り組みを世界全体で加速させ、特に先進国にはスピード感を伴った行動を要求すると強調しているのに加え、COP30(注2)の開催地がアマゾン地域にある同じくブラジルのパラ州の州都ベレンに決定しており、アグロフォレストリーがサステナブルソーシング(注3)として国際的に注目される可能性も高くなっております。

計画中のプラットフォームは、プラットフォーム上のアグロフォレストリー原料等の商材についてCO₂削減量を表示し、購入者によるプラットフォーム上での購入を通じたCO₂削減量が記録され、これを定量的に把握できる仕組みを作ることで、環境貢献に直結するという形を構築することを目指すものです。

これを実現させるため、WEB3技術を利用して原料等の売買を通じたCO₂削減量を表示、記録することを企図しており、さらには、将来にはクレジットと関連付けることも目指したいと考えております。

気候変動(地球温暖化)に関連した気候関連財務情報開示タスクフォース(以下「TCFD」といいます。)の設立から8年が経過し、プライム市場での気候関連情報の開示義務化へと進み、さらに、TCFDの生物多様性版ともいわれる自然関連財務情報開示タスクフォースへの取り組みが企業活動に求められる状況において、当社では、アグロフォレストリー及び当プラットフォームを「ネイチャーポジティブ」と「CO₂削減」を実現するソリューションとすることを目指し、事業化を通じて課題解決に向け貢献してまいりたいと考えています。

(注1) 「ネイチャーポジティブ」とは、企業・経済活動によって生じる自然環境への負の影響を抑え「生物の多様性を維持する」という従来の発想から大きく踏み込んで、「生物多様性を含めた自然資本を回復させる」ことを目指す新たな概念であり、近年、企業経営において重要性を増しています。

(注2) 「COP30」とは、国連気候変動枠組条約締約国会議 (Conference of the Parties) の第30回会議をいい、COPは大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させることを究極の目標とする「国連気候変動枠組条約」に基づき1995年から毎年開催されており、COP30は2025年に開催される予定です。

(注3) 「サステナブルソーシング」とは、持続可能な調達を意味し、社会的、倫理的、環境的なパフォーマンスの要素を調達元の選定に際して考慮し、社会や環境にも有益な調達活動を行うことをいいます。

2. 新規事業の概要

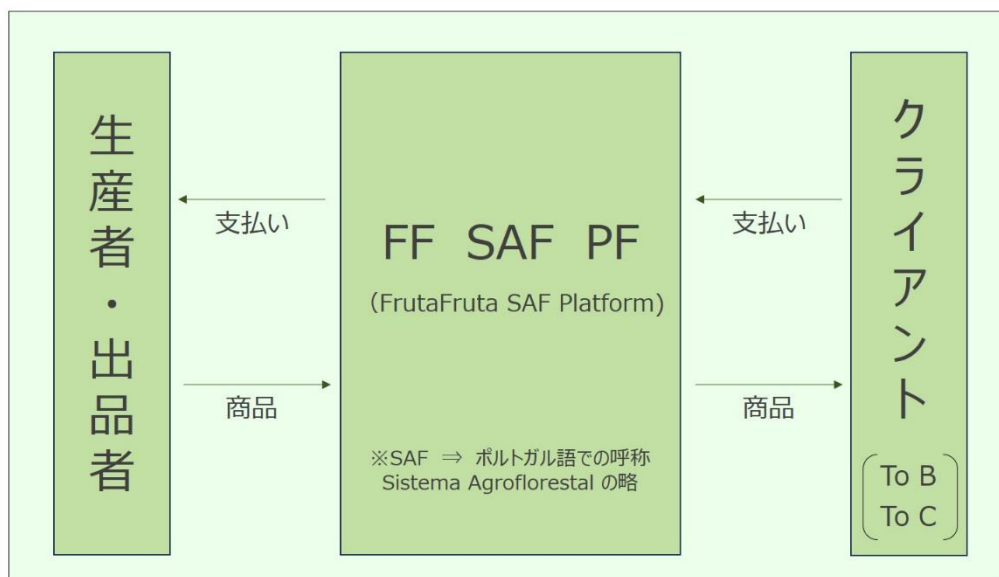
(1) 新たな事業の内容

「1. 事業開始の趣旨」に記載のとおり、アグロフォレストリーを「ネイチャーポジティブ」と「CO₂削減」を両立させるソリューションと位置づけ、事業を通じて課題解決に向け貢献してまいります。その一環として、アグロフォレストリーで栽培された作物をはじめとした、サステナブル商材に特化して取引するサステナブルマッチングプラットフォームの開発を行う予定です。プラットフォーム内では、現状当社が取り扱っております約40品の商材だけでなく、プロモーションを行い他社にもプラットフォームで出店していただくことで、サステナブルに関連する他社の商材も取り揃えることを想定しており、最終的には「サステナブルに関連するものはここに来れば揃う」と認識されるサステナブルマッチングプラットフォームとしていくことを目指しております。

サステナブルマッチングプラットフォームでは、ブロックチェーンを利用し、ブロックチェーンのメリットであるトレーサビリティ（追跡可能性）を活かし、原料調達（生産者）からサプライヤー（製造）、エンドユーザー（消費者）までのサプライチェーン情報の記録を可能とする予定です。サステナブルマッチングプラットフォームは企業及び個人の両者が利用することを予定しており、上記のような機能により、アグロフォレストリーからの原料供給であることを証明し、CO₂削減量を明示することより、サステナブルマッチングプラットフォームで取引を行う企業・個人の環境貢献への取り組みを客観的に明らかにすることを目指すものです。これに加え、ブロックチェーンの情報の不可逆性（非改ざん性）によって、食の安全性の担保に繋がるとも考えております。

なお、サステナブルマッチングプラットフォームの利用料、プラットフォーム稼働開始時点における利用企業数・ユーザー数は未定です。これらの内容も含め事業内容について詳細が決まりましたら速やかに開示する予定です。

○サステナブルマッチングプラットフォーム概要図



(2) 当該事業を担当する部門
海外事業部門（他部門で兼任で1名が担当）

(3) 日程
取締役会決議日 2023年11月13日
構築開始日 2024年10月～2025年4月頃（予定）
事業開始日 2025年10月（予定）

(4) 新たな事業の開始のために特別に支出する金額及び内容

2023年11月13日付「第11回乃至第13回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行（コミット・イシュー・プログラム）、第14回及び第15回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行並びに定款の一部変更に関するお知らせ」（以下、第11回乃至第15回新株予約権を「本新株予約権」といいます。）に記載のとおり、本新株予約権による調達資金から、プラットフォーム構築・維持費用、プロモーション費用、プラットフォームを通じた取引のため貿易代行等のノウハウを有する企業とのM&A・資本業務提携費用、IT人材・環境人材の獲得及び人材育成に関する費用として、1,990百万円を支出する予定です。

上記のとおり、新たな事業の開始のために特別に支出する金額を、本新株予約権による調達資金から支出する予定ですが、本新株予約権は、支出予定時期の期間中に行使が行われず、本新株予約権の行使による資金調達ができない場合があり、また、本新株予約権の行使価額は修正又は調整される可能性があるため、調達金額が上記支出予定金額を超過する又は下回る場合があります。そのため、金額及び使途については現時点における予定であり、具体的な金額及び使途については、本新株予約権の行使による財産の出資がなされた時点での状況に応じて変更される場合があります。また、本新株予約権による調達資金の資金使途には、上記各費用のみではなく、アサイーのアジアを中心とした海外事業展開関連費用も含まれます。これらの費用について優先順位はなく、本新株予約権の行使がなされた時点で支出時期の早いものより充当する予定です。

詳細は、2023年11月13日付「第11回乃至第13回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行（コミット・イシュー・プログラム）、第14回及び第15回新株予約権（行使価額修正条項付）の発行並びに定款の一部変更に関するお知らせ」をご確認ください。

3. 今後の見通し

現在開示しております事業計画の期間内においては、本事業を別個で報告セグメントとするような規模までは想定しておりませんが、中長期的に当社の業績向上に資するものと考えております。合理的な算定が可能となり、重要な影響を与えることが判明した場合には、速やかに開示いたします。

また、上記「2. 新規事業の概要（4）新たな事業の開始のために特別に支出する金額及び内容」記載のとおり、新たな事業の開始のために特別に支出する金額を、本新株予約権による調達資金から支出する予定であるところ、本新株予約権の行使の有無・時期等が当社の予定どおりに進まない可能性がございます。この場合、事業開始時期の見直しや事業計画変更を行う可能性がございますが、かかる見直しや変更を行った場合には、速やかに開示いたします。

以上